

証券コード:6302

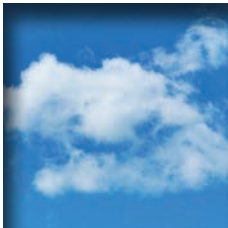
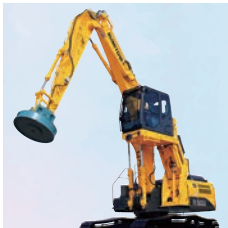
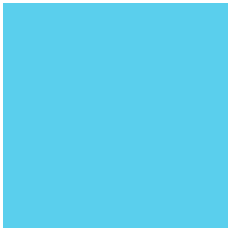
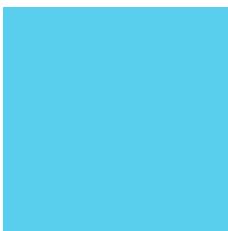
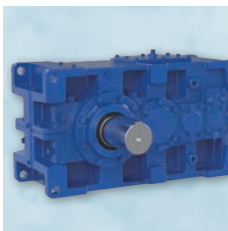


株主のみなさまへ

第131期中間報告書

2026年1月1日～2026年6月30日

- 01 株主のみなさまへ
- 04 当中間期の業績について
- 05 セグメント別営業の概況
- 07 特集1:電気を「ためて使う」時代へ
～世界初のLAES商用実証プラント
が始動～
- 09 特集2:がん治療の未来へ
～BNCT(ホウ素中性子捕捉療法)
について～
- 10 会社情報／株式情報





株主のみなさまには、

平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、当社第131期中間期(2026年1月1日から2026年6月30日まで)のご報告を申し上げます。

わたなべとしろう

代表取締役社長 渡部敏朗

パーパス

こだわりの心と、共に先を見据える力で、人と社会を優しさで満たします
Enhance society and those within it with compassion through our ownership and vision



詳しくは
ウェブサイトを
ご覧ください

経営理念

企業使命

一流の商品とサービスを世界に提供し続ける機械メーカーを目指します。
誠実を旨とし、あらゆるステークホルダーから高い評価と信頼を得て、社会に貢献します。

私たちの価値観

顧客第一：顧客価値を第一に考え優れた商品とサービスを提供します。
変化への挑戦：現状に甘んずることなく変化に挑戦し続けます。
技術重視：独自の技術を磨き社会の発展に貢献します。
人間尊重：互いを尊重し学び合い成長する組織風土を育みます。

当中間期の業績について

当中間期は、中東情勢悪化や原油高による先行き不透明感がある中、国内の設備投資、輸出は底堅く推移しました。海外においては、米国では景気が堅調に推移、欧州でも緩やかな回復が見られた一方、中国では需要の低迷が継続しました。

このような経営環境のもと、当社グループは「中期経営計画2026」に基づき、製品・サービスによる社会課題解決を通じて持続的に企業価値を拡大することを目指し、強靱な事業体の構築へ向け、収益力改善、資本効率向上、新事業探索の強化を遂行するとともに、SDGsへの貢献拡大及び環境負荷低減への取組み強化などの施策を推進してまいりました。

こうした活動の結果、当中間期の受注高は前年同期比13%増の6,071億円、売上高は前年同期比12%増の5,542億円となりました。

損益面では、営業利益は前年同期比73%増の374億円、経常利益は前年同期比81%増の341億円、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比78%増の220億円となりました。

また、当中間期の業績を受けて、中間配当金につきましては前年同期比10円増の1株につき70円とさせていただきます。

「中期経営計画2026」の進捗状況について

「中期経営計画2026」は、「あるべき姿」からバックキャストして社会課題を導き、「製品・サービスによる社会課題解決を通じて持続的に企業価値を拡大する」という方針を継続し、「強靱な事業体の構築」という基本方針に基づき「収益力の改善」、「資本効率の向上」、「新事業探索の強化」を重点課題と位置付け、コーポレートとセグメントの両面から施策を遂行しております。

①コーポレート戦略

●**事業ポートフォリオ改革の推進** 成長を見込む重点投資領域への経営資源の集中を進め、低成長・低収益事業及び戦略再構築事業について、構造改革を着実に実行しております。具体的には、ロボティクス・自動化分野、半導体関連分野などへの成長投資を実施するとともに、機械式駐車場事業、蒸気タービン・プロセスポンプ事業の譲渡を決定するなど、資本効率と戦略適合性の観点から事業ポートフォリオ改革を実行しております。また、造船向けクレーン需要の増加に対応するため、当社子会社である住友重機械プロセス機器株式会社のロジスティックス&コンストラクションセグメントへの編入を実施し、愛媛地区での一体運営を通じたクレーン事業の生産能力及び収益力強化を進めております。



▲「中期経営計画2026」における事業ポートフォリオ改革の進捗

さらに、収益力改善に向け、主力事業の構造改革を継続しております。2026年度は人員対策を含む施策を断行しており、併せて成長領域に経営資源を集中することで、2027年度以降の収益力強化につなげてまいります。

●**資本政策** 資本効率の向上を重視した経営を推進し、キャッシュ・フロー創出力の強化に取り組んでおります。資産の入替えや在庫削減、事業別採算管理の高度化を進めるとともに、構造改革及びポートフォリオ改革と一体的に施策を推進し、持続的な資本効率の改善を図っております。

●**新事業探索の強化** 各セグメント及び本社部門と連携しながら、横断的なテーマ発掘と事業化推進を継続しております。カーボンニュートラル、資源循環、再生可能エネルギー、医療機器、ロボティクス・自動化など、社会課題解決に資する領域を中心に、既存事業とのシナジーと事業性を見極めながら、新たな成長機会の創出に取り組んでおります。

●**経営基盤強化** 引き続きサステナビリティ、人的資本、DXの強化を進めております。サステナビリティでは、SDGs及び当社グループの2050年カーボンニュートラル目標の達成に向け、事業を通じた社会課題解決への貢献と、中長期的なリスクへの対応を推進しております。人的資本では、人材確保、人材育成基盤の強化、グローバル人材マネジメントの基盤整備、組織能力強化、ダイバーシティ推進を重点課題として、人材戦略を遂行しております。DXでは、強靱な事業体を支えるDX推進基盤の構築に加え、設計・製造バリューチェーンの変革、サービス事業の高度化など新たな顧客価値の創出

に取り組んでおります。

②セグメント戦略

セグメント戦略では、メカトロニクスセグメント、インダストリアルマシナリーセグメント、ロジスティックス&コンストラクションセグメント、エネルギー&ライフラインセグメントのそれぞれの役割を明確化し、成長戦略と収益力改善を並行して進めております。

重点投資領域のうち半導体製造装置事業では、AI・データセンター投資が市場成長を牽引する一方、非AI向けの需要は低調であり、当社事業領域の市場回復が遅れております。この状況を踏まえ、次期中期経営計画に向けて収益性及び資本効率の改善を最優先課題と位置付け、イオン注入装置及びレーザアニール装置の連携強化、2025年に買収した、半導体製造装置事業を営むフランスのLASSE社(現SMS-E※)との協業を通じたレーザアニール事業の強化、新規顧客対応及び共同開発を進めてまいります。

収益低迷事業の構造改革では、減速機、プラスチック加工機械、油圧ショベル事業を中心に収益力改善施策を推進しております。減速機事業では価格改定や不採算案件からの撤退を進め、国内収益は改善しております。プラスチック加工機械事業では機種及び事業構造・規模の見直しにより収益力は改善基調にあり、欧州市況低迷を踏まえたさらなる追加施策にも着手しております。油圧ショベル事業では、国内レンタル需要の減少、北米の関税・金利影響なども踏まえ、供給体制の最適化と収益管理の強化を進めております。

※Sumitomo (SHI) Material Solutions Europe SASU

「中期経営計画2029」の骨子について

次期中期経営計画である「中期経営計画2029」では、「中期経営計画2026」で顕在化した課題を踏まえ、成長投資の対象をより明確化し、規模の拡大よりも収益率及び資本効率といった「質」を重視する経営へ転換してまいります。特に「中期経営計画2029」をリードする事業を「牽引事業」として位置付け、重点的に投資及びリソース配分を行う方針としております。

牽引事業は、成長市場において競争優位性を確立し、高い収益性と資本効率を実現し得る事業と定義し、当社グループの中長期的な成長を支える中核と位置付けております。具体的には、メカトロニクス分野におけるドライブテクノロジーズ及びアドバンステクノロジーズ並びにクレーン事業を中心に、コア技術を活かした高付加価値ビジネスの拡大を図ります。加えて、半導体製造装置事業については、当面は収益性改善を最優先としつつ、将来的な牽引事業化を見据えた積極的な取り組みを継続いたします。

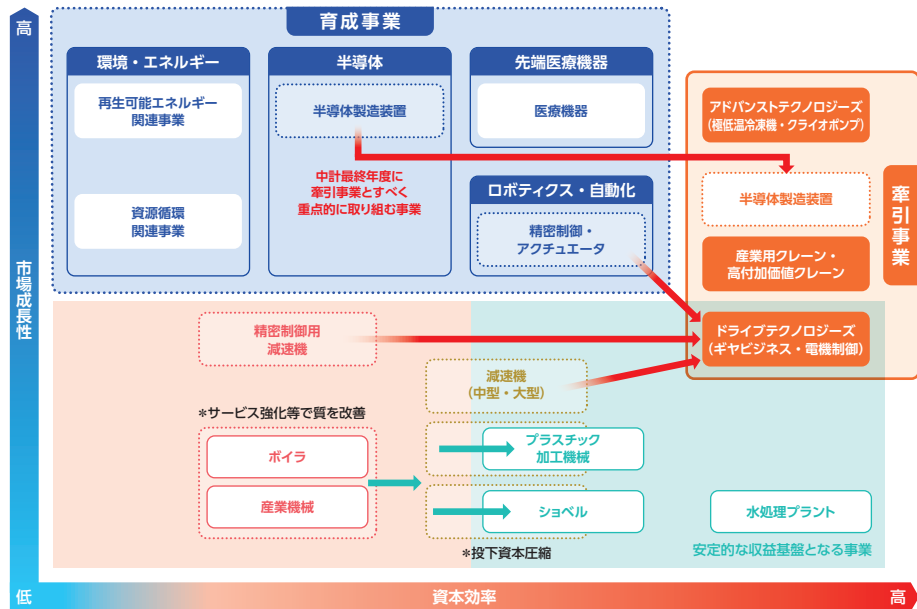
また、「中期経営計画2029」では、サービス事業の強化を重点課題の一つとして位置付けております。お客様との関係性を基盤とし

たソリューション提供力を強化するとともに、DXを活用したサービスビジネスの高度化を進めることで、安定的かつ高付加価値な収益構造への転換を図ります。

コーポレート戦略では、セグメント横断でのポートフォリオ改革、全社的なリソース配分の最適化、事業性評価に基づく選択と集中を推進するとともに、DX、人的資本、ガバナンスといった経営基盤の強化を図り、持続的成長を支える体制を構築いたします。

セグメント戦略では、牽引事業及びサービス事業への資源集中を進めるとともに、各セグメントにおいて収益力と資本効率の向上を重視した経営を徹底いたします。特に、収益性の低い事業については再編や構造改革を通じて体質改善を図り、全社としての収益基盤の強化につなげてまいります。

財務面においては、規模の追求ではなく、収益率及び資本効率の向上を重視する方針へと転換することで、経営の質を高め、持続的な企業価値向上を実現してまいります。牽引事業への集中投資とポートフォリオ改革を通じて、強靱で高収益な事業体の構築を目指してまいります。



▲「中期経営計画2029」における事業ポートフォリオ改革

「中期経営計画2026」は、数値面では課題を残しつつも、構造改革、事業ポートフォリオ改革、成長領域への経営資源集中は着実に進展しております。今後も次期中期経営計画を見据えながら、外部環境の変化に迅速に対応しつつ、課題事業の収益力改善と成長事業の強化を図り、企業価値の持続的向上に取り組んでまいります。

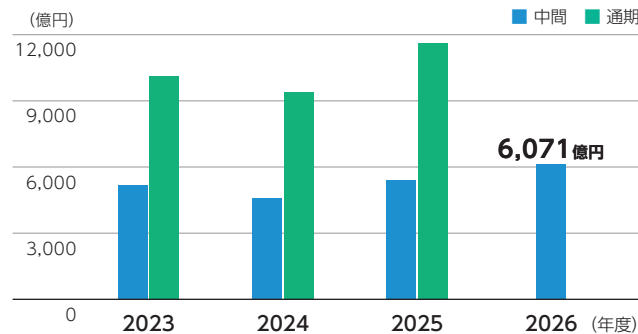
株主の皆様におかれましては、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

業績ハイライト

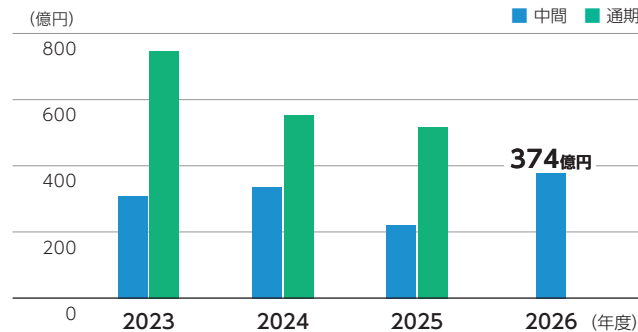
- 受注高** インダストリアル マシナリーセグメントを除いたセグメントで増加
- 売上高** 全セグメントで増加
- 営業利益** 売上の増加に伴い全セグメントで増加
- 親会社株主に帰属する当期純利益** 営業利益の増加により増加

連結財務ハイライト

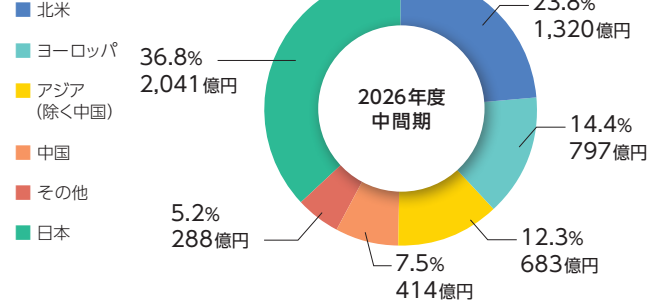
受注高



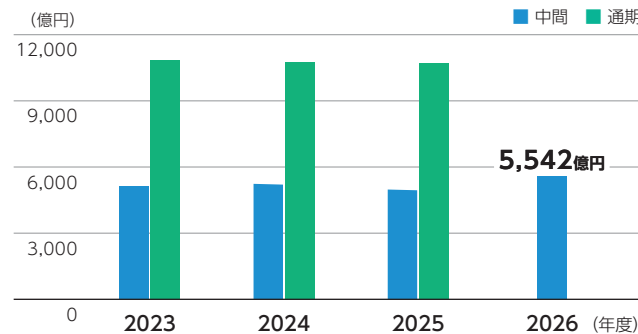
営業利益



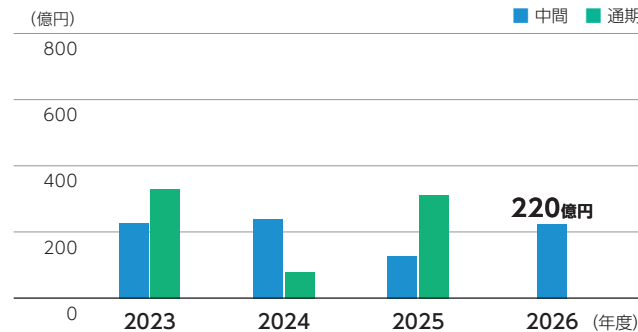
地域別売上高構成比



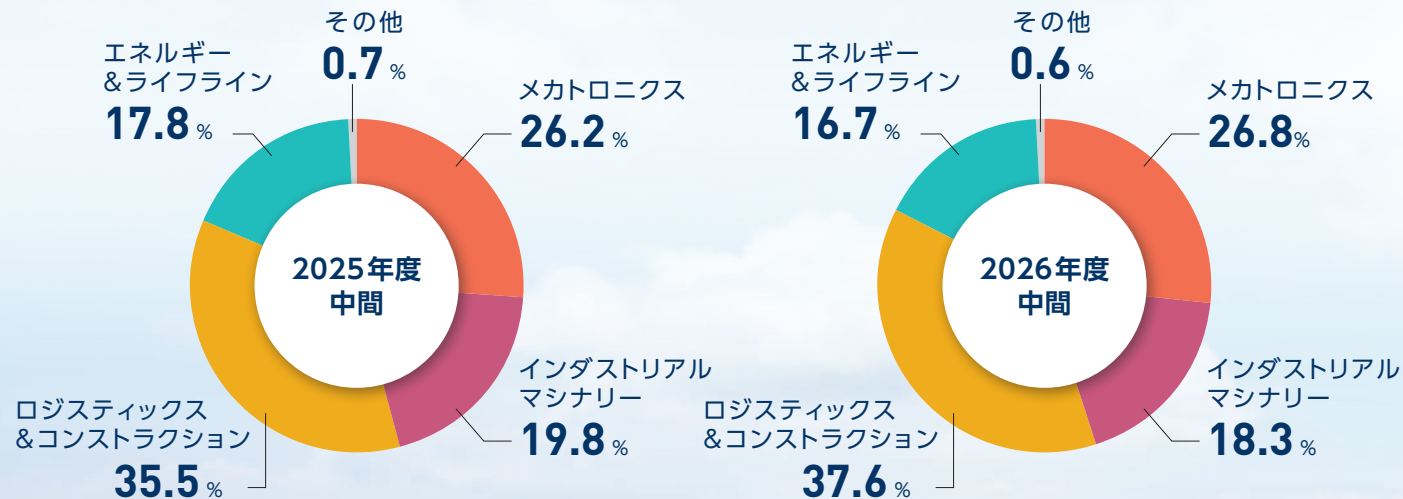
売上高



親会社株主に帰属する中間(当期)純利益



セグメント別売上高構成比

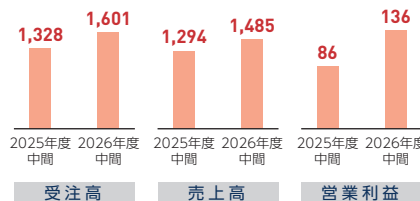


メカトロニクス

売上高 **1,485** 億円 前年同期比 **14.8%** 増 (単位:億円)



サイクロ®減速機



主な製品

減・変速機、モータ、インバータ、極低温冷凍機、精密位置決め装置

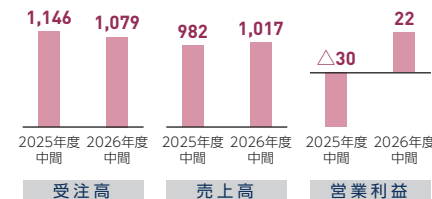
減・変速機は国内外で需要が堅調に推移、モータ、インバータは欧州顧客の需要が増加、極低温冷凍機も米国及び中国において半導体関連の需要が増加し、受注、売上、営業利益ともに増加しました。

インダストリアル マシナリー

売上高 **1,017** 億円 前年同期比 **3.6%** 増 (単位:億円)



プラスチック加工機械



主な製品

プラスチック加工機械、フィルム加工機械、精密鍛造品、半導体製造装置、加速器、医療機械器具、鍛造プレス、空調設備、防衛装備品

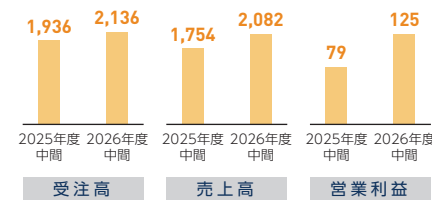
半導体製造装置は受注が増加したものの、医療機械器具等の受注が少なかったことから、セグメント全体として受注は減少しました。一方、受注残が多かったことから半導体製造装置を中心に売上は増加し、売上増加に加え、プラスチック加工機械事業における採算の改善が進み、営業利益も増加しました。

ロジスティクス&コンストラクション

売上高 **2,082** 億円 前年同期比 **18.7%** 増 (単位:億円)



油圧ショベル



主な製品

油圧ショベル、建設用クレーン、道路機械、運搬荷役機械、物流システム、駐車場システム

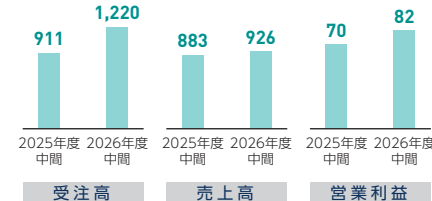
運搬荷役機械は前期に一定の受注を確保した反動から受注が減少しましたが、油圧ショベルは北米及び欧州向けの需要が増加、建設用クレーンは北米での需要が堅調に推移し、セグメント全体として受注は増加しました。この結果、売上、営業利益も増加しました。

エネルギー&ライフライン

売上高 **926** 億円 前年同期比 **4.9%** 増 (単位:億円)



バイオマス発電プラント



主な製品

発電設備(ボイラ等)、大気汚染防止装置、水処理装置、タービン、ポンプ、攪拌槽、食品製造機械、船舶、海洋構造物

水処理装置や海洋構造物で大物案件の受注があったことから受注は増加し、水処理装置で当期売上対象となる案件が多かったことから売上、営業利益も増加しました。

太陽光発電や風力発電の普及に伴い、「電気をためる技術」の重要性が高まっています。
住友重機械グループが事業化を進めるLAES (Liquid Air Energy Storage、液化空気エネルギー貯蔵)は、
皆さんのまわりにある空気を利用して電気を長時間貯蔵する新しいエネルギー貯蔵技術です。

詳しくは
ウェブサイトも
ご覧ください▶



再生可能エネルギーの 普及を支えるLAES

LAESは、再生可能エネルギーなどの余剰電力を利用して空気を圧縮・冷却し液化する「充電」、液化空気や温冷熱を貯めておく「貯蔵」、液化空気を気化・加熱し膨張させてタービン発電機を回す「放電」の各プロセスで構成されるエネルギー貯蔵設備です。

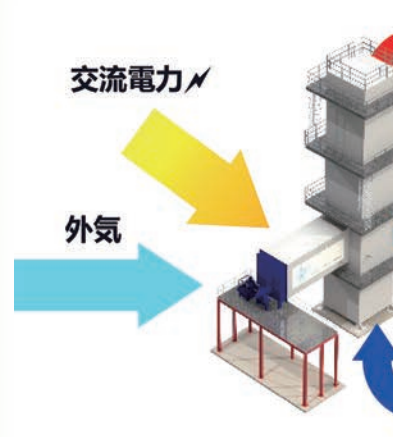
太陽光発電や風力発電は、天候によって発電量が変動するため、グリーンである一方、出力が不安定です。そこで、LAESが余剰電力を貯蔵して必要な時に供給することで、再生可能エネルギーをより有効に活用することができます。

加えて、立地条件による設置場所の制約も比較的小さいことから、需要地近辺など必要な場所へ柔軟に設置できる点も大きな特長です。



▲世界初のLAES商用実証プラント
(中央部2本のタンクが液化空気貯蔵タンク)

1. 充電 (蓄電)



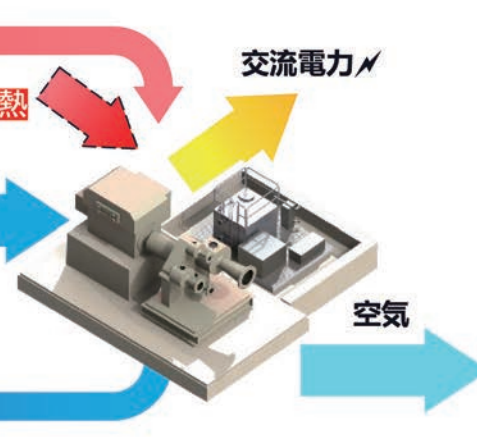
外気を工業用空気液化装置
を使用して冷やすことで液化

2. 貯蔵 (液化空気)



液化空気を標準的な
断熱タンクに低圧で貯蔵

3. 放電 (送電)



液化空気をポンプで加圧し、
温めて気化させながらタービン
発電機を通して放出

世界初から、 次のステージへ

当社は広島ガス株式会社とのパートナーシップのもと、同社廿日市工場内に、一般家庭約1,800世帯の1日分に相当する*20MWh (4.99MW×4時間)の電力貯蔵容量を持つ、世界初のLAES商用実証プラントを建設しました。本プラントは2025年12月から商用運転を開始し、現在は実際の電力市場を想定した運転を通じて、商用化に向けたデータと知見の蓄積を進めています。

再生可能エネルギーの普及が進む中、LAESは電力の安定供給を支える重要なエネルギーインフラとなり、火力発電だけに頼らない電力システムの実現に貢献できると考えています。

※当社試算

世界初への 挑戦を支えた チーム



LAES商用実証プラントの実現に向けたプロジェクトは、充電・貯蔵・放電のプロセスを一つのシステムとして統合するとともに、高温熱・冷熱を活用するエネルギー貯蔵設備を実現する、当社にとって前例のない挑戦でした。

その挑戦を支えたのが、住友重機械グループパーパスを本プロジェクト向けに具体化したパーパス“液化空気 世界にでんきと幸せをとれます”です。

このパーパスが、チームが同じ方向を目指して挑戦し続けるための道しるべとなり、新たな価値創出に向けた挑戦を前向きに楽しむ風土を醸成しました。一人ひとりの主体的な行動が、LAES商用化に向けた大きな原動力となっています。



▲若手中心のチームがプロジェクトを推進



▲現場で議論しながら最適解を導出

世界初のLAES商用実証プラントの実現は、新しいエネルギーインフラの構築に向けたスタートラインです。

住友重機械グループは、こうした挑戦を未来の価値へと変えながら、優しさに満ちた次世代の社会を支える事業を創出していきます。

?

BNCTとは何ですか？
またBNCT治療システムNeuCure®の特長についても教えてください

BNCT (ホウ素中性子捕捉療法) は、がん細胞に選択的に取り込まれたホウ素薬剤に中性子を照射し、正常な細胞等へのダメージを抑えながらがん細胞を内側から破壊する、次世代の放射線治療です。このBNCTに不可欠な中性子を発生させるサイクロトロン加速器において、世界トップレベルの技術を有する当社は、原子炉不要で病院内への設置が可能なBNCT治療システムを2009年に開発し、以降、臨床開発を進めてきました。

BNCT治療システムNeuCure® (ニューキュア) は、2020年に世界で初めて医療機器としての承認を取得し、日本では切除不能な局所進行又は局所再発の頭頸部癌を対象に保険診療が開始されています。2026年6月時点で、国内2施設(福島、大阪)、海外1施設(中国・海南省)において治療が行われており、これまでに1,000例以上の治療実績が蓄積されてきました。



2020年から2026年6月までのBNCT治療システムNeuCure®による治療数の推移

年	中国	日本	累計
2020	56		56
2021	113		169
2022	140		309
2023	202		511
2024	213		724
2025	261		985
2026 6/30現在	108	40	1,033

?

BNCTの展望について教えてください

現在は、従来BNCTが得意としてきた表在・中浅部腫瘍に加え、深部がんへの適応拡大に向けた研究開発が進展しています。中性子の高出力化や、薬剤改良などにより、適応領域の拡大が期待されており、将来的には市場規模の拡大が見込まれます。

今後、がん患者数の増加や、体への負担が少ない治療へのニーズの高まりを背景に、放射線治療市場は中長期的に成長が続くと見通されています。一方でBNCTの設置・運用の拡大は未だ限定的であり、普及には臨床データのさらなる蓄積や各国制度上の承認が重要な鍵となります。

次期中期経営計画では、中国など海外市場における装置販売やサービス事業の拡大を目指すと同時に、BNCTを「標準的な放射線治療」の一つとして確立するため、米国市場での販売に必要な規制当局 (FDA*) の許可取得を目指します。

※米国食品医薬品局 (Food and Drug Administration)



▲中国の鵬博(海南)BNCTセンターにて、2026年3月、頭頸部癌を対象としたBNCT治療が初めて実施されました

当社は、今後もBNCTの一層の普及と適応疾患の拡大を目指し、人と社会を優しさで満たしていきます。

大阪・関西万博にて大阪府が開催するイベント「大阪・関西がリードするがん治療～BNCTが拓く『いのち輝く未来社会』～」で、BNCTを紹介しました！



BNCT治療システムNeuCure®については、こちらの動画もご覧ください ▶



会社概要

設 立	1934年11月1日
資本金	30,871,651,300円
従業員数(連結)	24,720名
事業所	
本 社／	東京都品川区大崎二丁目1番1号
支 社／	中部支社(名古屋市) 関西支社(大阪市) 九州支社(福岡市)
工 場／	田無製造所(東京都西東京市) 千葉製造所(千葉市) 横須賀製造所(神奈川県横須賀市) 名古屋製造所(愛知県大府市) 岡山製造所(岡山県倉敷市) 愛媛製造所新居浜工場(愛媛県新居浜市) 愛媛製造所西条工場(愛媛県西条市)
研究所／	技術研究所(神奈川県横須賀市)

株式の状況

発行可能株式総数	360,000,000株
発行済株式の総数	122,905,481株
株主数	41,619名

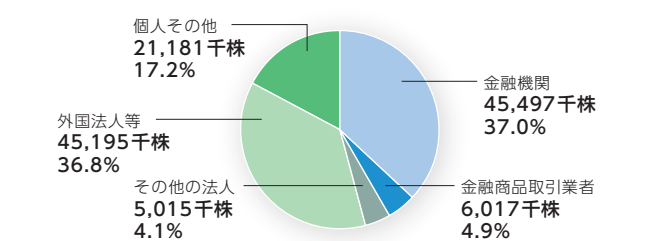
取締役及び監査役

代表取締役会長	下村 真司	取 締 役	森田 純恵
代表取締役社長	渡部 敏朗	取 締 役	華房 実保
代 表 取 締 役	荒木 達朗	常 勤 監 査 役	鈴木 英夫
取 締 役	続木 治彦	常 勤 監 査 役	直原 和哲
取 締 役	荒居 祐基	監 査 役	中村 雅一
取 締 役	高橋 進	監 査 役	南木 みお
取 締 役	濱地 昭男	監 査 役	渡辺 肇

執行役員

社 長 CEO	渡部 敏朗	常務執行役員	富永 浩之
執行役員副社長	荒木 達朗	常務執行役員	岡本 知恵
専務執行役員	土屋 泰次	執 行 役 員	永井 貴徳
専務執行役員	Shaun Dean	執 行 役 員	加藤 洋一
専務執行役員	続木 治彦	執 行 役 員	三 觜 勇
専務執行役員	荒居 祐基	執行役員 CIO	原田 和浩
常務執行役員	近藤 守弘	執 行 役 員	三輪 晃久
常務執行役員	月原 光国	執 行 役 員	山本 章
常務執行役員	Melvin Porter	執 行 役 員	石丸 新

所有者別株式分布状況



※記載株式数及び持株比率は、表示単位未満を四捨五入して表示しています。

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会開催時期	毎年3月
基準日	定時株主総会 毎年12月31日 期末配当 毎年12月31日 中間配当 毎年 6月30日
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 [郵便物送付先] 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 [電話照会先] ☎ 0120-782-031 (受付時間:土、日、休日を除く9:00～17:00) [ウェブサイトアドレス] https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
公告方法	インターネット上の当社ウェブサイトに掲載します。(https://www.shi.co.jp) ただし、やむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に掲載いたします。

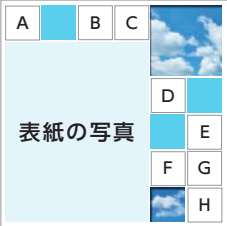
株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について
証券会社等に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。証券会社等に口座を開設されていない株主様は、右記の電話照会先までお問い合わせください。

特別口座について
株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、右記の電話照会先までお問い合わせください。

単元未満株式の買取請求及び買増請求について
単元未満株式(100株未満株式)の買取請求及び買増請求は、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。特別口座に記録された株式に関するご請求の場合は、下記の電話照会先までお問い合わせください。

電話
照会先

**0120-782-031**
(受付時間:土、日、休日を除く9:00～17:00)



- A イオン注入装置
- B 極低温冷凍機
- C LAES商用実証プラント
- D パラマックス®減速機
- E 全速全水位型横軸水中ポンプ[新居浜市]
- F グライアスクリーン[今治造船株式会社]
- G 油圧ショベル(金属リサイクル仕様)
- H プラスチック加工機械

**Sumitomo Heavy Industries, Ltd.**
ウェブサイトアドレス <https://www.shi.co.jp> → 



この報告書は環境に配慮し、植物油インキを使用しています。



ミックス
紙 | 責任ある森林管理を支えています
FSC® C020828



この報告書は見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。